

といふ處から來て居るとの事、

●そんなら妖怪の妖といふ字は 如何です、矢張り女邊に天 妖怪の妖にも矢張り、深奥幽妙の意味が、合まれて居ませうかなといふ、處が此方は少し違ふ、女といふものは、大に作りに依つて相格が變る、殊に年少き婦人に於て然り、年少婦人が其作りに依つて、大に其相格を變化すること、恰かも妖怪の如き所から、妖怪の妖の字が出來たなど得意氣に語る人のありしが、果して如何にや

●婦女と小兒とは、共に紅い飾を好むこと、毎日衣物や帶のことをいふこと、嫉妬の心強きこと、自我の念に富むこと、よくキャツ／＼と笑ふ事、而して、優し過ぎれば馴れ過ぎ、強過ぎれば泣き出す事、等あらゆる點に於て、相似たりといふ人ありて、吾は思はず打腹立てたり。



●學校、集會

●女子高等師範學校 卒業生は先月卅日午前八時より同校講堂に於て舉行せられ、文科廿三名、理科十七名、地歴専修科卅四名に各卒業證書を授與せられたりといふ、尙詳細は次號に報ずべし

●送別會、同日午後三時より在留學生諸氏發起となりて、卒業生の爲めに開きし由なるが例によりて頗る盛會餘興の薩摩琵琶など殊に面白かりし由

●建築中なりし講堂も悉皆出來上りて、従前の約二倍大となりぬ前庭の教室も悉皆工事終りたりとの

こと▲附屬小學校主事として北海道師範學校長横山榮次氏任命せられたり。

●東京府第三高等女學校 同校々長として青森縣師範學校長小林盈氏任命せられ既に先月より登校着々執務せられ居れりと。尙同校入學願書の受付は本日限り、入學試験は本月十四、十五の兩日

なりといふ。
●保姆傳習所 東京府教育會同所は愈本月十三日を以て卒業式舉行の由、受験者凡そ五十名中及第者卅一名に卒業證書持與せらるゝ由なるが同日は本科傳習所家事科傳習所の卒業式をも併せて行ふ由なり。

●三輪田女學校 兼ねてより令名高き三輪田眞佐子刀自は、愈今回廻町四番町に女學校を設立し、大に女子教育の爲めに盡されんとすといふ。

因に記す同校建築落成は來年の見込なれども、假校舎に於て本月より既に授業を開始すべしとのことなり。

●女學校の災難 群馬縣高崎高等女學校に於ては、先月初め數十名の腸チフス患者を出せし爲め今以て休校中なるが、該病の爲め死亡生徒四名、目下人事不省中の者六名に及び、職員にも傳染して歸國せし者ありとか、校長は爲めに進退伺を

出せり、又仙臺高等女學校も客月火を失し折節外日日の事として、數多生徒は外出し居りし爲め、書籍衣類等悉皆焼失せし者もありしとか、重ね々女學校の災害を耳にせしこそ、傷ましけれ。

●北海道の學校設備 北海道に於ては向ふ五ヶ年間に於て、上川に中學校、高等女學校、農學校を、札幌に工業學校を、小樽に高等女學校、商業

學校、水産學校を、函館に高等女學校を、釧路に中學校を設置することを同道教育會に於て確定したりとなり。

●佛敎女子大學設置の議 此程東京佛敎信徒聯合の名義にて、閑靜なる地位を選び佛敎主義の女子大學校及び附屬高等女學校建設の議を内貴京都市長の許へ建議したりといふ。

●高等女學校長會議 文部省に於て來る五月一日より向ふ一週間を期し全國官公私立高等女學校長一同を召集し諮問會議を開く諮問事項左の如し

- (一)各學科目教授の進度を記録する方法
- (二)教員の缺員又は缺勤の場合に於ける生徒教授の方法
- (三)作法をして實際に適切ならしむる方案
- (四)教授上成る可く總體假名の使用を廢することの可否
- (五)補習科に於て小學校教員たるの豫修をなさしむるの得失
- (六)修身科中に於て操行點を付し又は別に操行點を定めて之を進級の條件中に加ふるの可否
- (七)學校と家庭との連絡を一層親密ならしむる方法

- (八)高等女學校令施行規則實施上不便なる點ありや若しありせば其の條項如何
- (九)技藝專修科の入學資格は如何なる程度に於て定むるを可とするか
- (十)高等女學校寄宿舎の適當なる構造如何

附 記

- (一)前記各號の諮問にして各學校に於て既に實施せる所あるものは其の狀況を書面にて報告すべし
- (二)第一號諮問に關し既に實施せるものは其の方法記録の様式及記入例を具し四月二十日限り差出すべし

●關東教育會聯合大會 關東各縣に於ける教育各團體は、教育開進上の問題に就き本年五月東京市に於て聯合大會を開く筈にて、主唱者東京府教育會會長より此程各縣の團體に向け賛同勸誘書を發したりといふ。

●文相の音樂會 菊池文相は先月十五日午後三時より音樂學校に於て音樂會を開き先づ「樂德」「形見の刀」の合奏あり、次に「ヴァイオリン」

オルガン、ピアノの合奏并に獨奏あり、又管絃の合奏等あり各國公使并に鍋島侯板垣伯等朝野の紳士六百餘名參會したり。

●婦人會の椿事 去二月廿三日信州都住村小學校にて同地婦人會の開會ありしに突然會場なる

二階の裁縫教室墜落して百五六十名の婦人火鉢と共に重り合ひて落ち來り六十名の負傷者を生じたりし由、女學校の災難といひ、此會の災難といひ誠に痛心の限にこそ。

●筆の雪下

●四月二十一日 幼稚園の始祖たる、婦人教育熱心家たるフリードリッヒ、フレーベル氏實に千七百八十二歳本月本日をして、獨乙チューリンギャのオーベルツイスバッツハ村に呱口の聲を上げたるなり。生れて翌年、未だ其溫容と親しむに至らず

して、早く既に慈母を失ひ、爾來辛苦つぶさに嘗め盡して殆んど獨力以て深奥の學理を極め、併み自ら高富の地位に居らずして世を終ふるまで、幼兒の友となりて、倦むことなかりし氏を紀念する爲め歐米至る處にフレーベル會を組織して、日に月に隆盛を極めつゝありといふ。

●不良少年の類別 東京感化院に於て不良少年の類別を調査せしに左の如くなり。

- 愛情の過度 二六、四 學校生徒の不良感化
- 冷淡なる教育 一七、九 地方風俗の結果
- 朋友の不良 一五、三 無教育
- 家庭教育の不完全 一一、一 苛酷の教育
- 遺傳と認めらるる者 四、九 妾腹に生れし者
- 愛情の過度たる實に驚くべく教育の完否、朋友の善悪が影響するを最も多きを見るべし。
- 郵便電信局女子雇員の成績 先達て來東京郵便電信局に於て女子事務員を採用したる結果は概

して良好なる由にて、欠勤の少きと時間中男子の如く怠慢ならざるとは特に注意すべき事なるが爲替の記帳の如きも其取扱數男子より多くとも劣ることなければ、俸給の廉き點に於ても利益あり唯過失を恐れ萬事控へ目勝なる爲め一定の事務以外に手を出さざる欠點あり、採用數多きに失せず十人位を男子と混交し置けば、喋々の私語や醜態もなく至て勤勉なりと云ふ、因に記す目下同局女子雇員總數三十一名にして給料は二十錢乃至廿八錢なりとのことなり。

●過去現在の博士 博士現在者數及死亡者數に付き文部省の最近調査左の如し。

現在者數	死亡者數	合計
法學博士 四七	三	五〇
醫學博士 六九	三	七二
藥學博士 五	〇	五

工學博士	九一	七	九八
文學博士	三八	七	四五
理學博士	四四	五	四九
農學博士	一二	〇	一二
林學博士	六	〇	六
獸醫學博士	七	〇	七
合計	三一九	二五	三四四

●馬鈴薯の滋養分 馬鈴薯の歐洲諸國に輸入せられたるは阿米利加發見後英國のサー、ウオーター、ラレイが煙草と共にヴァージニアより持歸りたるに始まり爾來歐洲人の副食物として始んと缺く可からざるものとなれり此物の重に澱粉質より成ることは何人も熟知せる所なるが精細に之を分析するときは百分中水七八、三澱粉一八、四窒素質二、二脂肪質、〇一鐵物質一を含み同量の米に

比すれば四分の一の滋養分を有する割合なれども米を飯と爲すときは多くの水を含み殆んど同一の

滋養分を有するものとなる又馬鈴薯を不消化なりと稱するは學說上何等の根據なきことなり但し馬鈴薯は澱粉多きを以て米と同じく體力を養ふに適し體の網膜を養ふに適せずされば肉に混へて常食となさば頗る適當なるものなり只注意すべきことは永く蓄へたる馬鈴薯にして己に發芽するに至りたるものはソラニンと稱する有毒性の物質を有するを以て食用に適せざることなり。(衛生談話)

地方通信

●北海道札幌女子高等小學校近況 目下總計五百名あり此内四年生は六十三名にして卒業後の方向は女子講習科北星女學校高等女學校等に入學する由にして年長者は十六七才最少十才なり。

●高等女學校假校舍 札幌大通 東二丁目の元

後藤合名會社製粉場跡を一時借受けんと大洋視學官同建物質地檢分をなしたるに光線悪しく目下露清學校となせる元偕行社の建物を借受けんと昨今交渉中なり。

●北海道學事會 北海道學事會は全道中の主なる校長連並に各支廳教育課主任屬等より組織せられ全道教員の統一を圖る一機關なり然るに本會をして無用の機關なりとて絶對的に廢止せんとする論者もあれどもこれ經濟上より生したる辯論なるが結極隔年一回開會するに成れり。

●北海道に於ける下田歌子女史の家政學 客年八月北海道教育會第十四回夏期講習會女子部に於て家政學を講せられたるが其の學識の宏遠にして例證の適切なる眞に懦夫をして起たしむるの氣概ありき今其講述せられたる家政學は筆記編纂と

なりて廣く全道に好評を搏せられつゝあり。

●高等女學校設立認可 來る四月より開校せんとする高等女學校は二月廿七日付を以て文部大臣

より認可せられたり。

東京より

▲桃の花は既に名残を留めず、梅は勢よく青々と新葉生ひ茂り候折柄、東台の邊の彼岸櫻は、遁早くも溢れん許り技もたは、に咲き揃ひ花のお江戸の有様、これから始まり申すべく、東京人士が花にかこつけての狂態もこれより演ぜられ申すべくと存じ候。さて例によりて、先月來當地の動靜あらずし御郵信申し上げべくと存じ候。

▲例の菅公一千年祭が、筑前大宰府に於て、昨月二十五日より本月廿五日まで催うされ候に付いて

は、當地龜戸神社及湯島天神に於ても、大祭執行の擧有之、龜戸神社は既に先月廿三日より始まり湯島の方は本月末より一週間舉行の由、てこそひやら御輿やら、はやしやら夫は、大變な賑の由に候菅公も、一千年後の今日、此大賑を以て記念せられ候事を御承知相なり候は、定めて地下に御満足遊ばさるゝ事と存じ奉り候。

▲久しく疑問に屬したりし、第三高等女學校校長も念青森縣師範學校長小林盈氏と定まり候。序に申し上げ候、同校へ奉職志望を申し出で候處の女教師の數は、凡て五十幾人に上り候由、地方にて一人の女教師を得んがため、困難に困難を感じ居り候折柄東京の學校といへば、招かずして雲の如くに集來すること如此に候。何人か、申し候、投機的思潮の致す所、男女共に然りと。

▲諸學校は、大低先月廿九、卅、卅一日の間に卒業式を舉行致し候由に御座候。

▲高等女學校校長會議は、來月一日に始まる由、中學校長會議、高等學校長會議も、本月より來月初旬の間を開かれ、關東教育大會も、來る六月上野に開會せらるゝ由に候。

▲先月は東京市内、麻疹の大流行を來し、大低の子供は襲はれ申候、神田區内丈で二百幾人の患者に上り候。由。死亡數は大低二ペルセントなりし由に候。

▲先月は、上旬よりかけて彼岸の中日まで、春氣洋洋と進み來り候處、中日を過ぐると等しく何處かに低氣壓舞ひ下り候由にて、氣候一變急激なる冷氣を催うし、廿三四の兩日の如き襦を出れば、雪積ること正に二三寸、朝來霏々として折柄

散りかゝる梅花を紛らせ候はや時分時ならめとて、漸く薄化粧を凝らして、笑ひ初めんとせし、櫻花も、此有様に吃驚して、偕てはまだ早かりしよと、狼狽て一時姿を隠し候。由、花神より傳言有之候。

以上

海外彙報

●幼稚園と小學校との聯絡 萬國幼稚園協會ヲ非ラゲル
フイア支會は昨年十二月三日、同地師範學校に於て例會を開き、如上の題目につき研究せり。先づ サラー、フイツブル嬢は、幼稚園の見點より論じ主として教授の二方法。詩的即表號的方法と科學的方法とに付きて述べ、表號的教授法は是非とも科學的方法に先きんせざるべからざる所以、而してこは專ら幼稚園に關するものにして、小學校にありては主として後者を用ふべきものたるを説きたり。次ぎて、ザヨリツ、ホッラー氏は、初等學校の見點より論じて曰く、現今幼稚園保姆と小學校教師とは時々反日嫉視を以て相對せるが如きことあれども、二者は互に相知り

相助くることを勉めざるべからず、余は思ふ、若し幼稚園に於て遊戯と共に仕事に對して従順、獨立、忍耐等の習慣を、幼兒に得しむる様訓練したらんには、小學校教師の教育事業は今一層容易に施さるゝとを得んき、次にノルスエスト學校長ドクトル、コルマン氏立ちて更に、ホ井ラー氏の説を輔述し、且つ曰く、兒童は、皆四才よりして善良なる教師の指揮誘導の下にあるべしと願ふ利益あることなり、余は兒童に取りては幼稚園科を設くることを望む云々、フアンシー、ロー嬢は、幼稚園にも小學校にも經驗を有せる人、幼稚園に於ける幼兒の身体的精神的道德的訓練の如何に小學校に助けを與へたるかを論じ、更に曰く、兒童の學校に來るや、感覺は鋭敏となり手指は練磨せられ、觀察力は敏健となり、記憶發現の力は培養せられ、教師の指揮に従ふ事の伶俐なる、到底家庭より來れる幼兒の及ぶ所にあらず、加之彼は既に數學、歴史、地理、國語等を學ぶべき根本的概念を有し、忍耐の習慣、労働の好愛、知識を求め、正義をなさんとする慾望は彼の全生涯を通じて價值を有するに至る云々。ジョン、ドルハム夫人は、表號的教育といふことに付きて保姆と學校教師とは、果して同様の意に解せりや否やといふ疑問を呈出し、更に曰く一般にいへば保姆は大に其効用を説くも、教師は之を否定す、而れども、これ互に相知らざる結果のみ、若し詳に之を了解せしならんには、初等高等の學校教師は必らず之を賞賛するに至らんと。

最後に、アンナ、ウカリアム夫人は、初等小學校教師の多数が、幼稚園より來れる兒童に付きて、不満足を感ずる理由として、數

言を述べたり、曰く幼稚園より行く幼兒は、既に一定の心力、熱練の發達を有せり、然るに教師は、此兒童の爲し能ふ所、此兒童に要求すべき所のものを知らず、故に此兒童に課する事は、易過ぎる様になる、これ即教師生徒の共に迷惑を來す所以なり、之を除く途は他なし、教師は小學校に従事する以前に於て、先づ幼稚園にて爲せる所、爲べき所のものを知り、善良なる幼稚園を觀察し、其保育法の大体に通ずることを勉むるに在り。

●幼稚園問題 南部教育大會の幼稚園部は、昨年十二月廿七日、コロンビアにて開會せしが、其問題として出でたるは左の如し『後年の教育の準備といふ立脚點より見て、最も緊要なる幼稚園の形狀は如何にあるべきか』『近世批評の光に照らして、幼稚園保育法には、如何なる改良を必要とするか』

新刊紹介

▲新文 (二ノ二) 本郷區森川町一、言文一致會發行
此は言文一致會の機關で、至極眞面目で淡白で併も中々面白い雜誌である。本號には久津見氏の唯物論の趣味と結局、前號から續いて面白く讀まれ、堀内氏のおは雪、奥さんの苛める繼子に對する乳母の情愛は、一寸感情の鋭い讀者を泣かしめるであらふ、教育界の時評は同感、ネルソン將軍の傳記、教育的に出來て面白い (一部八錢、郵税一錢 毎月一回)

▲兒童新聞 (一) 本郷區本郷五ノ二二 兒童新聞社發行
此は一寸体裁が婦女新聞の弟の様に見える。面白い繪も澤山、記

事も澤山、(一部一錢五厘 郵税不要 月三回)

▲女界(一) 神田區駿河臺西紅梅町六 白鳳堂發行

新に發刊せられたる美麗の婦人雜誌、論說には欄橋女史の女子教育所感見るべく、學藝には數多の評釋類あり、文苑頗る賑にして家庭にも有益の文字多し其他漫録、小説、姬かつら、雜報等の諸欄に分つ、吾人は茲に我等の友を得たるを喜び、將來健全の發達を祈る(定價一冊十錢 郵税一錢 月一回)

▲英學新報(一ノ九) 神田區表神保町三 英學新報社發行

英語獨修者の好伴侶、號を重ぬるに從ひ、愈有益の文字に富み行くが如し、本號載する所尙係にはジョンバンヤン及小傳、社説、花文字の使用に付きて、其他寄書に會話に注釋に時報に懸賞英作文に、滿紙錦繡の裝といふべし(定價一冊八錢 郵税五厘 月二回)

▲日本婦人 第二八、九號 帝國婦人協會

▲令徳 第四卷第二、第三 令徳會本部

▲東京教育雜誌 第一四七號 同發行所

▲婦人新報 第五八、九號 同發行所

▲秋田縣教育雜誌 第一一五、六號 同會事務所

▲教育實驗界 第九卷第四號 育成會

▲大八洲雜誌 第一八八號 大八洲館

▲衛生讀話 第一四號 通俗衛生茶話會

▲苦學界 第一號 苦學社出版部

▲婦女新聞 每號 全社

▲山梨教育 第八七號 全社

▲女子の友 第一一〇、一號 東洋會社

▲學生俱樂部 第二卷第六號 育成會

▲教育實驗界 第九卷第五號 全社

▲日本の小學師 第三九號 國民教育社

▲東洋哲學 第九卷第三號 東洋哲學界

▲教育時論 第六〇八、九、十號 開發社

▲卒業新報 每號 全社

▲六合雜誌 第二五五號 日本ゆにてりあん弘道會

▲なんな 第二卷第三號 大日本女學會

▲健康の葉 第一〇號 同社

▲うらにしき 第一一三號 同社

▲上野教育會 第一七三號 同會

▲福島教育 第八二號 福島縣教育會

▲通俗衛生 第四四號 大坂私立衛生會

▲大坂府教育會報 第一八八號 全會事務所

會報

幹事會 三月十二日午後三時より女子高等師範學校附屬幼稚園に於て開會來四月廿日開會すへき第七總會に關する件を決議せ

寄附金

一金拾錢也

謹ミテ厚意ヲ謝ス

入會

近藤とさ君

東京ノ部

麹町區土手三番町三井内

本郷區本郷三丁目二四岩堀傳之助方

地方ノ部

香川縣高松市高等女學校

長野縣上高井郡須坂町字常磐町

長野縣上田木町一〇四五

轉居

東京市本郷區金助町七三へ

大和國南葛城郡御所町南町吉川康久方へ

臺灣澎湖島臺灣銀行出張所へ

岡松磯次郎
田中織衛
寺島さみ
神林貞子
保坂ふさ
富永その
早川しか
小倉みき

一金五拾錢	自三十四年四月	阿本たか
一金拾錢	至三十五年一月	神通せき
一金三拾錢	自三十五年一月	土川五郎
一金五拾錢	至三十五年一月	野尻てつ
一金五拾錢	自三十五年一月	小谷野千代
一金五拾錢	至三十五年一月	川口雪枝
一金壹圓	自三十四年七月	佐藤壽鯉
一金五拾錢	自三十五年一月	外山しげ
一金五拾錢	自三十五年一月	岡澤やへ
一金五拾錢	自三十五年一月	柴田かつ
一金五拾錢	自三十五年一月	竹澤ささ
一金五拾錢	自三十五年一月	林ふみ
一金五拾錢	自三十五年一月	松村ひさ
一金五拾錢	自三十五年一月	桑岡ます
一金壹圓拾錢	自三十四年十二月	鳥海トゆん
一金壹圓	自三十五年一月	小谷野かれ
一金五拾錢	自三十五年一月	宇佐美はる
一金壹圓	自三十五年一月	杉本みさを

自一月二十一日會費領収
至三月二十三日

一金參	一金參	一金參	一金參	一金五	一金五	一金參	一金五	一金五	一金六	一金六	一金五	一金六	一金六	一金壹圓二拾錢	一金二拾二錢	一金二拾	一金壹圓二拾錢	一金三拾
至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十四年
一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月

大野朝比奈	成瀬きよ	近藤ばい	吉川さい	小關せい	柴岡てる	早川いし	新海ふみ	石川いし	小杉ささ	勝田すみ	加藤せつ	武藤むめ	海野きみの	山越忍空	小幡たみ	津原ちか	佐久間米	高山ふみ
-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------

一金六拾錢	一金五拾錢	一金壹圓二拾錢	一金壹圓拾錢	一金壹圓拾錢	一金壹圓	一金二拾錢	一金四拾錢	一金五拾錢	一金五拾錢	一金八拾錢	一金三拾錢	一金三拾錢	一金壹圓	一金壹圓	一金五拾錢	一金五拾錢	一金五拾錢	一金五拾錢
至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年	至全三十五年
一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月	一月

平岩繁拾	合志章子	上野かく	アスパン	今井ため	杉木まつ	中澤よし	重野あや子	林ふみ	福田米	大西永太郎	安本こすゑ	川村すみ	中山すま	瀬川さも	野口なほ	永田よし	柴崎けい	永田らく
------	------	------	------	------	------	------	-------	-----	-----	-------	-------	------	------	------	------	------	------	------

會報

一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	
自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
十六	十四	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
三	四	八	四	三	二	五	一	三	二	一	二	三	二	一	二	三	二	一	二	三	二
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月

儀 俄 ぶ み
 金 岩 蕭
 安 野 み ち
 若 尾 く す
 波 多 野 さ く
 波 多 野 あ ぐ り
 野 村 き ん
 谷 出 部 と ゆ ん
 大 友 の ぶ
 田 邊 は る
 井 上 千 代
 山 口 ま さ
 中 井 一 馬
 野 副 さ よ
 嶺 ふ き
 清 水 た づ
 長 谷 川 阿 喜
 吉 田 た み
 須 田 き よ

一金六 拾 錢	一金拾 錢	一金六 拾 錢	一金壹 圓	一金壹 圓	一金七 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金七 拾 錢	一金參 拾 錢	一金六 拾 錢	一金三 拾 錢	一金壹 圓 貳 拾 錢	一金二 拾 錢	一金壹 圓	一金六 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢	一金五 拾 錢
自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自	自
三	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
三	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月

田 中 織 衛
 貴 地 す が
 印 東 お さ な
 江 藤 三 保
 保 坂 ふ さ
 市 原 す み
 高 山 ふ み
 西 島 富 壽
 波 佐 谷 み ち
 伊 藤 せ い
 今 立 祐
 尾 田 け い
 太 田 ま つ
 立 花 は る
 堀 越 源 次 郎
 吉 武 し ゃ う
 村 山 つ ね
 伊 藤 弘 一
 大 羽 ひ さ

一金壹圓拾錢	自三十五年十二月
一金壹圓	自三十五年七月
一金壹圓	自三十四年七月
一金五拾錢	自三十五年一月

喜多見さき	武田さん	南摩まき	後閑菊野
-------	------	------	------

追って右誤謬等有之候節は御手数な
がら御一報相なりたく候。



謹告

玉稿御寄送之節は開き封にて二錢
切手御粘用にて宜しく候。
玉稿は毎月十五日までに御寄贈相
なりたく候。

會 員 名 簿

會員名簿

◎ハ幹事退職者
○ハ幹事留日者

在京會員

麹町區

番町小學校 稻葉 かね
全 大橋 いぬ
全 内田 かん
全 後藤 りん
全 河井 いれ
全 迎 てる
全 ○野口 ゆか
全 ○小關 せい
全 ◎齋藤 みれ
全 志賀 かま
全 吉川 さい
全 中野 よれ
全 山崎 彦八
全 山下 つや
全 山口 きよ
全 清水 あい
全 平野 まち
全 早川 いし
全 藤屋 よし

全 五番町九嘉納氏方
全 飯田町四ノ一
全 土手三番町三井内
全 三番町七〇
全 四番町一四
全 三番町六一
全 内幸町一ノ三
全 中六番町二九
全 平河町六ノ一三
全 上六番町一
全 飯田町六ノ二二
全 平河町四ノ一三
全 平河町六ノ二二ツライジシ
全 トン方
全 五番町五
全 神田區
全 東京府第一高等女學校

高橋 しげ
野村 すき
全 安藤 ゆき
全 紫間 照
全 志村 たか
全 平田 いよ
全 石川 いし
全 井上 千代
全 岡松磯次郎
全 丹所 啓行
全 相馬 宗孝
全 津原 ちか
全 長興のぶ子
全 中島 敏
全 鍋島いし子
全 野口 なほ
全 松井 正子
全 御厨 守忠
全 廣瀬 銀
全 森 乙女

全 高等師範學校附屬小學校
全 錦美幼稚園
全 篠原小學校
全 一ツ橋幼稚園
全 鎌倉町三
全 猿樂町三ノ二
全 錦町一ノ一川瀬方
全 駿河臺北甲賀町一七清水方
全 淡路町一ノ一
全 駿河臺南甲賀町一〇
全 駿河臺北甲賀町一〇釘宮剛方
全 仲猿樂町七難田方
全 淡路町二ノ四
全 日本橋區

星 つれ
種村 ゆき
東 くめ
竹澤 さこ
深津 しづ
乙竹 岩造
近藤 茂
丸山 かく
多田房之輔
多田 させ
石川 よれ
岩川 ひさ
片桐 くら
矢野ふさよ
小谷野かれ
安東 えれ
喜地 すが
關 千秋
鈴木れい子
常盤小學校
橋本 はな
貫 しげ
大友 のぶ

婦人の子と第二卷第四號

養徳幼稚園	池邊 千東	木挽町二ノ一三	羽田 幸	青山小學校	伊藤いつき
全	相賀 よし	新榮町四ノ二	吉田 たみ	全	相川のふ
全	小杉 郷	南飯田町一	木寺 ふさ	全	櫻井 光華
阪本小學校	千葉 秀	芝	星野 ひさ	青山北町四ノ一〇	秋山 七朗
全	岡田 ちよ	芝麻布共立幼稚園	勝田 すみ	青山南町五ノ二九	三須 さし
全	大野朝比奈	全	田中 ふさ	四谷區	
全	中島 行徳	全	吉田 しう	四谷幼稚園	三好 芳
全	喜多島 周	頌榮女學校	岩崎 たつ	四谷彰學幼稚園	エヌイ・フアイフ
全	妹尾 明	三田通り新町一三	近藤 はま	全	水上 よし
全	脇屋 なほ	櫻川町六	全	愛住町七六	高橋 いち
城東小學校	田原 かれ	麻布區	千田 孝壽	河合幼稚園	河合 ちよ
全	永田 かい	麻布幼稚園	吉住幾久江	全	三宅 はな
全	水口 みつ	全	野澤 あい	牛込共立幼稚園	瀧澤 よう
久松小學校	林田 もと	宮上見町二六	寺尾 きく	全	堤 てつ
彌亮町一ノ四平井彌七内	加藤 たけ	飯倉三丁目東京天文臺官舎	妻沼 こなつ	東橋町二〇	大和田りょう
元大工町八加藤幸太郎内	吉田 かう	飯倉片町二七	小出 雷吉	南橋町一九	尾崎 勝巳
南茅場町五	塚越 くが	赤坂區	成瀬 きよ	辨天町一一一	中桐雄太郎
小舟町二ノ二	全	東京府師範學校	桶田 むつ	神樂町二ノ一一	後藤 いさ
京橋區	全	仲ノ町小學校	牧野 くれ	横寺町二九	淺田 つる
朝海學校	全	全	小曾根 こし	神樂町二ノ一七	關谷 いま
全	小野 てる	全	淺岡 はま	小石川區	筈井 志賀
全	金子 忠平	全		日本女子大學校	
全	深江 さき	全			
全	メツヒンゲ	全			
全	杉山 はま	全			
新榮女學校					

簿 名 員 會

東京府第二高等女學校	岩本 ぶく	全
全	岡本 たか	全
全	岡田 ふみ	全
全	丸山 さめ	全
東京府女子師範學校	土川 五郎	全
全	永田 けい	全
全	野尻 てつ	全
全	前田 捨松	全
全	小谷野千代	全
全	神通 せき	全
東京盲啞學校	小西 信八	全
小石川幼稚園	山田 千代	全
餌差町三四	石川 ふき	全
原町一二三	伊澤 丑三	全
高山豊川町四三	樺山 常子	全
日白臺岡部氏方	藤澤 臯月	全
指ヶ谷町一一七	有川 ひさね	全
大和町二七	師岡 伸	全
久堅町四八	關口 たけよ	全
木郷區		
冲靜幼稚園	古市 靜	全
高等師範學校	岡山 秀吉	全
女子高等師範學校	伊藤 弘一	全

市原 壽見	全
宇立 裕	全
伊藤 せい	全
池袋 すが	全
岩田 ゆき	全
林 外浪	全
林 蝶	全
波多野 徳	全
波佐谷みち	全
◎林 ふみ	全
◎羽田 晴	全
西嶋 富壽	全
堀越源次郎	全
富岡 龜門	全
鳥居拔三郎	全
藤室忠次郎	全
富田八千代	全
岡田 起作	全
大羽 ひさ	全
尾田 けい	全
太田 まつ	全
大嶋 小春	全
奥山 ぼる	全

大津 まん
渡邊 すみ
神田 順
加藤 錦
吉田 信太
吉武しやう
吉村 千鶴
高橋忠次郎
武田 きん
立花 ぼる
高山 ふみ
高木 なみ
椋尼かなる
根本まさこ
南摩 まき
中村 五六
村井 あい
瓜生 繁
内田 たね
黒田 定治
窪田 八重
谷田部 順
安井 てつ

婦人の子と第 二 號 四

全 全

矢作 てつ	山口西三郎	保井 この	山田 せん	町田 則文	◎松村 ひさ	藤岡 さき	小池 みつ	後閑 菊野	小々高みさを	小林 ふと	寺本みよし	寺嶋 さく	○雨森 劍	安東 てい	相川 みれ	赤江 よれ	齋藤清太郎	齋藤鹿三郎	佐方 鎮	喜多見さき	木村 寅恵	宮崎 もと	
全	全	全	全	全	全	全	全	全	誠之小學校	全	全	駒込淺嘉町町九九	龍岡町三四東氏方	金助町七三	本郷三丁目二四岩郷傳之助方	弓町一ノ一四	龍岡町三四	春木町二ノ二三	駒込追分町三〇奥井邸内	下谷區	西町小學校	全	全
新免 義男	下村三四吉	斯波 やす	◎清水 たつ	下瀬 龍乃	東 基吉	廣瀬 他美	森川 清	森 岩太郎	西村 さだ	小向 きみ	青木 せい	今井 つな	徳永 ふく	富永 その	田中 織衛	福田 米	藤村 いこ	新海 ふみ	敷藤 きん	和田 くら	柴崎 けい		
根岸小學校附屬幼稚園	下谷小學校	谷中清水町二〇	仲徒町三ノ七〇	龍泉寺町三七九	池ノ端七軒町三八	淺草區	柳北小學校	全	全	全	淺草幼稚園	千束町二ノ一四〇	本 所 區	表町幼稚園	中和小學校	江東小學校	全	全	全	深川區	深川小學校	全	
渡邊 三郎	三谷 保	春田 隆	横田 けい	永田 よし	村田 みち	福井 榮	◎佐々 ぐき	澤 ぬい	三田 利徳	保科 修	淺井 ぼつ	樋口 みれ	川崎 みつ	服部 たき	山田 きみ	福尾 きく	安藤 たみ	上遠野あい	金子 きた				

會 員 名 簿

全
明治小學校
佐久間よれ
矢澤 わさ
福田 ふく

地方會員

東京府

北豊嶋郡南千住町七七 石山 ひさ
北豊嶋郡王子元瀧川村一三一 印東おさな
青梅小學校附屬幼稚園 長谷川 春
荏原郡大崎村字下大崎三〇六 服部 繁子
北豊嶋郡南千住町四 若林 みつ
北豊嶋郡南千住町九三六 横山 まき
北豊嶋郡南千住町大字千住南 吉田はる子
一三一 吉田はる子
豊多摩郡内藤新宿花園小學校 吉澤 さも
北豊嶋郡南千住町太字南二六 蘭田 梅
北豊嶋郡南千住町元通新四一 永田 らく
北豊嶋郡王子村元王子一五 松田 さし
荏原郡大井村三一四四 手塚不二夫
北豊嶋郡南千住通り新町四六 淺野 てふ
北豊嶋郡王子村一二八六 坂野 すゝ
神奈川縣 神奈川縣
相州横須賀横須賀小學校 大橋みなか
神奈川縣鎌倉町小町室戒寺内 大山 千代
神奈川縣鎌倉町字小町 鶴田いの子

横濱市伊勢町二ノ五五
佐和山方
相州横須賀港横須賀小學校
相州横須賀港横須賀小學校
横濱市元街小學校
神奈川縣三浦郡横須賀小學校
横濱市伊勢町二ノ五五

工藤 ふし
松岡 さち
藤宗 きく
福島 ちか
小嶋 はま

下野國鹽谷郡北高根澤村
宇津氏方
栃木縣足利幼稚園
群馬縣
群馬縣佐波郡壇町
群馬縣高等女學校
群馬縣高等女學校
群馬縣高等女學校
群馬縣高崎幼稚園
群馬縣高崎幼稚園
群馬縣前橋市石川町六
群馬縣前橋幼稚園
群馬縣高崎市堰代町四九

廣瀬 まさ
關 壽賀
岩村 ちつ
鳥海トゆん
田邊 なか
富岡 むめ
野村 ざん
松村 貞
清水 喜代

相州横須賀港横須賀小學校
相州横須賀港横須賀小學校
相州横須賀港横須賀小學校
相州横須賀港横須賀小學校
神奈川縣高座郡松林村菱沼
太田市五郎方
埼玉縣 埼玉縣
埼玉縣川越町松江町三〇六
埼玉縣高等女學校
埼玉縣浦和町一三五
埼玉縣大里郡熊谷町幼稚園
千葉縣 千葉縣
千葉縣千葉町
千葉縣千葉郡中野郵便局區内

馬場 さら
津原 はま
矢嶋 させ
北村 いさ
筒井はる子
小幡たみ子

靜岡縣師範學校女子部
靜岡縣駿東郡玉穗村字グミ澤
靜岡縣靜岡市城市市立
靜岡幼稚園
靜岡縣三嶋町三嶋高等女學校
靜岡市高等女學校
愛知縣
名古屋市高等女學校
同
尾張國東春日井郡瀬戸町
尾張國熱田玉井一〇五
滋賀縣
滋賀縣大津高等女學校

大村 米
立道 操
松山 いつ
松木 かつ
江藤 みほ
岡 都子
坪内 きく
中野 芳枝
桑村 ます
宮武 みよ

下野栃木町高等女學校
宇都宮栃木縣高等女學校
下野國足利町駿阿寺
栃木縣師範學校

新橋 きく
建部 よれ
山越 忍空
佐原 貞

滋賀縣大津高等女學校

宮武 みよ

婦人子どもと第二卷第四號

三重縣四日市江田町三四六 西脇又作方	三重縣津市高等女學校	伊勢國宇治山田町々立幼稚園	三重縣師範學校	京都府 丹後國加佐郡舞鶴町立幼稚園 丹波國船井郡園部高等小學校 京都府京都市油小路 城巽幼稚園 京都府高等女學校 京都府興謝郡宮津町字中ノ町 丹後國加佐郡舞鶴尋常高等小 學校幼稚園 京都市第二中學校内 京都市三條通り白川橋東へ入 ル五丁目	大阪府 大阪市東區豐後町六八 大阪市北區中ノ島五ノ一五〇
中澤 よし	安達 けい	酒井 冬子	新開 みね	飯野 ふみ	
井上 半介	林 富美	恒川 三枝	中嶋 みつ	海野きみの	
工富 かれ	藤江富佐子	須田 喜代	本多 蝶	吉田 まさ	
土取 のぶ	中井 一馬	山口 政	町田 孝	淺井 やす	
大阪府堺市高等女學校	大阪府東區今橋三丁目 愛珠幼稚園	大阪府東區今橋通り五ノ九五	兵庫縣 神戸市北長狹通り二丁目 神戸幼稚園	兵庫縣御影幼稚園	
和歌山縣和歌山市始成 尋常小學校附屬幼稚園	和歌山縣高等女學校	和歌山市岡北ノ丁四	和歌山縣高等女學校	紀伊國伊都郡橋本町字川原町	
紀伊國伊都郡橋本町字川原町	和歌山縣師範學校	紀伊國東牟婁郡新宮町	和歌山縣高等女學校	附屬幼稚園	
奈良縣 大和國南葛郡御所町南丁 吉川康久方 奈良縣高等女學校	鹽野吉兵衛	瀨野 梅代	中村 松	極本 つれ	
山根 縣	岡山縣御堂十番邸	岡山縣師範學校附屬幼稚園	廣島縣廣島市高等女學校	廣島縣可部高等小學校	
廣島縣廣島市高等女學校	廣島縣可部高等小學校	廣島縣師範學校女子部	廣島縣師範學校附屬小學校	廣島市上流川町六三	
廣島縣安藝郡江田島松島内	廣島市小町森田卓爾方	島根縣 島根縣津田高等女學校	島根縣濱田高等女學校	島根縣 鳥取縣	
鳥取縣鳥取高等女學校	草間 貞	山口 せつ	安野 美知	小川 小春	
出邊 春	岩崎 かの	松岡 みち	廣瀬豊十郎	高羽 ふみ	
田坂 りつ	中島 よし	島筒 肩吉	山岡 てる	佐藤 壽鏡	
森田 きく	永地 待枝	淺井 耀	伊庭 なほ	小澤 さき	

會 員 名 簿

全	愛媛縣宇和島高等女學校	東條 順 土谷 ふで	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	石川縣師範學校	石川 縣	金岩かをり 山田 みつ
全	愛媛縣		全	大分縣下毛郡中津町大字	石島 廣	全	佐賀縣高等女學校	佐賀縣	阿部 つる 淺田 しづ 澁谷 さく
全	香川縣三豊郡觀音寺村	大西水太郎	全	熊本市五福幼稚園	大塚 さだ	全	佐賀縣師範學校	長野縣	保坂 ふさ 加藤 ふち 神林 貞子
全	香川縣高等女學校	蒲生 さと	全	熊本縣王名郡有明町	高木 まつ	全	佐賀縣師範學校	長野縣	上田高等女學校
全	香川縣綾歌郡阪出町幼稚園	中川 よれ	全	熊本縣尚綱女學校	野原 つれ	全	佐賀縣師範學校	長野縣	上高井郡須坂町字常盤町
全	香川縣高松市高等女學校	寺島 さみ	全	肥後國菊池郡陣内村	合志 章子	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	上田高等女學校
全	香川縣綾歌郡宇多津今市	澤村きみお	全	大分縣下毛郡中津町大字	石島 廣	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	松本高等女學校
全	山田 かね		全	古金谷ノ町	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	松本高等女學校
全	安藤 さつ		全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	外山 茂		全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	岡澤 やへ		全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	尾崎 萬龜		全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	村川 愛		全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	久保 ます		全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	圓井 まつ		全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	木下すゞ子		全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	柴田 かつ		全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	山口縣吉敷郡山口町大字	戸村 やす	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	山口縣阿武郡徳佐村	藤井 ちよ	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	山口縣熊毛郡寶積	木原 いさ	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	香川縣		全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	香川縣三豊郡觀音寺村	大西水太郎	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	香川縣高等女學校	蒲生 さと	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	香川縣綾歌郡阪出町幼稚園	中川 よれ	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	香川縣高松市高等女學校	寺島 さみ	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	香川縣綾歌郡宇多津今市	澤村きみお	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	伊豫國周桑郡壬生川町	越智 きみ	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	伊豫國宇和島龍華前町	大平 みら	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	愛媛縣今治高等女學校	山崎 なみ	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	愛媛縣西宇和郡神山小學校	清家みすゑ	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	清家一郎方	清家みすゑ	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	高知縣		全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	高知縣立高等女學校	依岡 あい	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	福岡市博多東中洲一九	野崎 ひで	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	福岡縣遠賀郡若松町大字	柳川 松	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	若松八三ノ二	小笹 文藏	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	筑前國博多行町三六	岸高 たき	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	福岡縣小倉高等女學校	久芳 龍藏	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	福岡縣師範學校	望月 くに	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	筑前國若松本町一	大塚 さだ	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	熊本縣	高木 まつ	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	熊本縣蘇郡堤梨村	田中 梅	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	熊本縣王名郡有明町	野原 つれ	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	熊本縣尚綱女學校	合志 章子	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	肥後國菊池郡陣内村	進藤享方	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	大分縣下毛郡中津町大字	石島 廣	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	古金谷ノ町	宮地 榮	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	長崎縣壹岐郡願伏村二九	長谷川阿喜	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	長崎縣師範學校	田島 もと	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	長崎縣南高來郡加津佐村山口	栗原 いし	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	佐賀縣		全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	佐賀縣高等女學校	阿部 つる	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	佐賀縣師範學校	淺田 しづ	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	長野縣	澁谷 さく	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	長野市旭町	保坂 ふさ	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	上高井郡須坂町字常盤町	加藤 ふち	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	上田高等女學校	神林 貞子	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	松本高等女學校	松本 まつ	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	山梨縣		全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	山梨縣師範學校	内田 すえ	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	山梨縣北巨摩郡江草村	篠原 しづ	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	甲府市紅梅町	進藤 つる	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	甲斐國中巨摩郡龍王町五五	進藤 ふい	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	進藤享方		全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	石川縣		全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	石川縣師範學校	金岩かをり	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	石川縣金澤市下本多町	山田 みつ	全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ
全	五番町二		全	大分縣高等女學校	宮地 榮	全	佐賀縣高等女學校	長野縣	福本 さみ

婦人子ども第二卷第四號

富山縣

富山縣富山市總曲輪
越中國下新川郡泊町
柳 きん

新潟縣

新潟縣長岡市女子師範學校
星野 きく

全
加藤 萬代

全
村山 いく

新潟縣高田高等女學校
中原 ふく

全
中野 豊記

新潟市高等女學校
宇佐美 ぼる

全
赤穂 千春

新潟縣師範學校
矢野 そう

佐渡國相川山ノ神三菱社宅
重松 綾子

茨城縣

茨城縣水戸市高等女學校
田井 敏三郎

茨城縣眞壁郡關本町
内藤 この

内藤 清太郎
内藤 さく

茨城縣北相馬郡相馬町字藤代
關 しむ

山形縣

山形縣米澤高等女學校
福地 くま

山形市高等女學校
關 しむ

秋田縣

秋田縣南秋田郡土崎小學校
秋山 さみ

宮城縣

仙臺市琵琶首町
早川 ちやう

宮城縣高等女學校
中村 しげ

宮城縣師範學校
村山 つね

仙臺市東六番町
野副 さよ

仙臺市東四番町六〇
里村 なほ

陸奥國西津輕郡深浦村
嶺 ふき

仙臺市東四番町六〇
青森縣
千崎 如幻

陸奥國西津輕郡深浦村
北海 道
武藤 ウメ

北海 道
幼稚園
福富 りき

北海道釧路國米町一三三
福富榮作
儀 俄 ふみ

北海道石狩國上川町旭川町
宮下通り十八丁目七號
波多野 あぐり

宮下通り十八丁目七號
臺
小野田 みほ

臺灣總督府民政部第二種
官舎第六號
小倉 幹

臺灣宜蘭門外官舎
臺灣澎湖島臺灣銀行出張所
村上 先

臺灣鹽水港廳官舎
臺灣宜蘭官舎
櫻川 市子

臺灣臺北縣臺北石防街
一ノ二二
水主 こう

朝鮮京城尋常高等小學校
早川 清範

朝鮮元山津日本領事館
瀨川 さも

米國
岡田 光

追って誤謬の個所有之候節は御

一報相なりたく候

御宿所御姓名等變り候節は早速

本會わて御通知相なりたく候